

令和2年度第1回東温市総合教育会議会議録

開会の日時及び場所 令和2年6月1日(月)午前10時00分
東温市庁舎 4階 大会議室

議事に出席した委員	東温市長	加藤 章
	教育長	池川 仁志
	教育委員	菅原 正夫
	教育委員	本田 隆彦
	教育委員	水岡 明美
	教育委員	清家 隆夫

議事に出席した職員	教育委員会事務局長	池田 隆太
	総務課長	田中 聡司
	学校教育課長	橋本 武
	保育幼稚園課長	山本 健吾
	生涯学習課長	河端 徳明
	学校給食センター所長	近藤 照雄
	学校教育課長補佐	渡部 昌弘
	学校教育課指導主事	橋本 英樹
	保育幼稚園課長補佐	近藤 和明
	生涯学習課長補佐	高須 義春
	学校教育課学事係長	高橋 俊光
	生涯学習課社会教育係長	戒能 耕児
	生涯学習課文化振興係長	樋口 康裕

傍聴人 (0名)

1 開会宣言 (10:00)

池田局長 (開会を宣す。)

2 市長あいさつ (10:00)

加藤市長 私が議長を務めさせていただきます。本日は傍聴を希望される方はおられませんので、さっそく開会に際しましてご挨拶を申し上げます。
本日は大変ご多忙の中、第1回東温市総合教育会議にご出席いただき、

誠にありがとうございます。日頃より本市の教育行政の推進につきましては格別のご支援ご指導いただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。現在の新型コロナウイルス感染症にかかる学校の対応状況でございますが、学校教育の方の段階的再開に向けまして5月12日から分散型の登校・短時間の教育活動を始め、5月25日から学校を再開しております。幼稚園におきましても同日をもって再開したところでございます。まだまだ全国的には終息しているとは言えませんが、万全の対策を取りながら教育活動を進めてまいりますので委員の皆様方にも引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

このような中で、本市におきましては、5月27日に市内の方が初めて感染事例が確認されました。市では対策本部において情報収集と対応を行ってまいりましたが、本事例におきましては一連の病院関係でございまして、学校には影響がないとして特段の措置はとっておりません。ご父兄にはメール等でご連絡いたしておりますが、そういう経過がございます。市民の皆さんには本事例を冷静に受け止めて頂いて落ち着いて行動していただくようお願いを続けているところでございます。今後の感染拡大を防止していくためには、引き続き密閉・密集・密接の三密を避けていただくなどさらに徹底した拡大防止を市民の皆様方に強く要請をし続けているところでございます。

さて、総合教育会議に戻りますが、教育委員会と市長部局が地域の教育課題やあるべき姿を共有し相互に連携して教育行政を推進していくための開催でございます。皆様方とより深く意見交換をし、教育委員会と市長部局が一層連携して教育行政の推進に当たってまいりたいと考えております。本日は平成28年2月に策定しました東温市大教育綱が5か年を経過しましたので、時代の流れに伴いまして新しい教育課題等も出ているところから、見直しを行ってまいりたいと考えております。教育委員の皆様との協議によりまして共通認識のもと東温市の教育行政を進めてまいりたいと思っておりますので、忌憚のないご意見を頂きますようお願い申し上げます。開会のご挨拶とさせていただきます。

事務局に協議内容の説明をお願いします。

3 議題

(1) 東温市教育大綱の見直しについて

加藤市長 事務局より説明をお願いします。

渡部補佐 (資料に基づき、東温市教育大綱の見直し理由及び見直し箇所の見方について説明する。)

加藤市長 それでは所管ごとに説明をお願いします。

橋本課長 (資料に基づき、学校教育課該当部分を説明する。)

山本課長 (資料に基づき、保育幼稚園課該当部分を説明する。)

河端課長 (資料に基づき、生涯学習課該当部分を説明する。)

近藤所長 (資料に基づき、学校給食センター該当部分を説明する。)

加藤市長 ご苦勞様でした。それでは順番に協議を進めていきたいと思ひます。まず、学校教育課の内容からご意見をお願いいたします。

本田委員 II-1「地域の方の意見を参考にして」が削られたら文書の繋がりが少しおかしくなるのではないか。学校のあり方という言葉が宙に浮いてしまっている。どうするのかという記述が必要ではないか。「地域の方の意見を参考にして」を残しておいた方が良いのではないかと思ひます。

II-3 現状の課題の中で、「教職員の研修をより質の高いものにする」と書かれていますが、目指す方向では研修に関わる内容がカットされていますので、現状と課題と目指す方向の整合性が取れないのではないか。職員の資質と能力の問題としてII-6でまとめているのならここで課題として残さない方が良いのではと思ひます。

II-5 現状と課題の「一層の充実に努めます。」のほか、10頁「寄与します。」、15頁「努めます。」という表現としては、「である。こうしている。」といった表現で、「努めます。」という言い回しは目指す方向で使用した方がすっきりすると思ひます。

加藤市長 本田委員の意見に対して事務局の説明をお願いします。

橋本課長 まず、4頁については、「地域の方の意見を参考にして」を削除したため、委員ご指摘のとおり確かに文書の繋がりがおかしいため日本語の整理をしたいと思ひます。

本田委員 現状と課題の中で「教職員の研修の必要がある。」の記述がある一方で目指す方向では、ICTに関する研修(支援)が削除されている。職員の資質能力の向上に関わる内容であるなら現状と課題の記述を削除すべきではないのか。

橋本課長 6頁については、9頁II-6教職員の資質・能力の向上とも関係があるため、整理をさせていただき、見直していきます。8頁から他課の所管にまたがる箇所については、項目に合致した語尾の整理をして適切な表現に見直したいと思ひます。

加藤市長 全体の表現に関わる修正については、事務局に全体調整して対応させます。

菅原委員 最初に新型コロナウイルスについて、これは一過性ではあるが対応策等何か触れる必要はないのか。

大綱の内容については、子育て支援に該当するのかわかではないが、子どもの貧困対策が重点項目に入っていない。5年前には具体的な施策はなかったと思うが、かなり重要度の高い問題であると思われる。ただ、所管はどこなのか分からないし、複数の課に関係していると思われるので、関係機関との連絡調整する場を設けることを表現するのか検討しても良いのではないか、説明を求めたい。

Ⅱ－1 社会総がかりで取り組む教育の推進について、先ほど本田委員から「地域の実情に応じて」に関する意見があったと思われるが、その前に、この5年間、東温市の子ども数がどのくらい減少してきたのか5年先にどのようになっているのか集計はしていると思うが、例えば来年から1人入学のような状況になってくる中で地域の意見も聞く必要はあるが、1人入学をいつまで続けていくのか、教育委員会として考えていく必要があるのではないか。

もう1点、今回追加したⅣ－4 地域コミュニティの醸成については、趣旨は良く分かる。いわゆる学校家庭地域連携推進事業のことであると思われるが、この事業を中心にして他の事業も展開するという趣旨で事業名を明確に記述して説明すればより分かりやすくなると思う。

Ⅱ－7 学校給食の充実と食育の推進については、特色のある給食（料理コンテスト等）を加えればより説得力のある表現になるのではないかと

加藤市長 事務局に説明を求める。

橋本課長 この時期に総合教育会議を開催して新型コロナウイルスの問題について触れないのか、また記述するにしても表現をどうするのか葛藤はありました。記述するとすればⅡ－2 安全・安心な教育環境の整備に入ると想定されますが、一過性で終息するか、感染拡大の状況等を注視して10月の時点において判断させていただきたい。

菅原委員 これから夏休みや、運動会をどうするのかなど及ぼす影響は大きいと思うが具体的な表現ではなく、全体的な学校の気構えなどでも良いと思うが、検討していただくなりそれで良いと思う。

山本課長 貧困対策については、基本的には当初社会福祉課が実態調査を計画しておりました。現在は保育幼稚園課で担当させていただいており、結果については社会福祉課に渡しております。今回第2期子ども子育て支援

事業計画で子どもの貧困対策の項目を掲載しております。生活困窮世帯への学習支援、子どもの居場所作りについては社会福祉課の担当になっているのと同時に総合計画の中でも各課ですべきことがあり、今回の教育大綱については保育幼稚園課としてできることを掲載しているので、貧困対策は該当しないと考えております。

菅原委員 子育て支援の中に明確に掲載せよという事ではなく、市の教育の在り方として、貧困問題は非常に大きな影響がある。教育委員会全体の中でどこかで、貧困対策を入れるべきではないか。法律もすでに施行されて社会福祉課でも様々な事業を行っている。社会福祉課の事業でも連携していることを大綱に盛り込んでも構わないと思う。そのくらい大事な重点項目であると私は思っている。

山本課長 全体の中で調整させていただきたい。

加藤市長 市長部局も含めて各課との連携事業として対応したい。

河端課長 ご指摘の通り若干抽象的な表現ですので、新しい項目ではあるが極力分かりやすい表現になるように検討します。

菅原委員 趣旨は分かるので、先ほど指摘した案も参考にして保護者が分かりやすい内容に見直してください。

河端課長 分かりました。

菅原委員 II-1 社会総がかりで取り組む教育の推進に関連して、学校の在り方に加えて過去5年間の児童生徒数の推移を見て、次の5年間についてこのままで良いのか、来年以降一人入学の学校もでてくることをどのように捉えるのか。

加藤市長 5月1日現在の学校基本調査の数字に注目しているが、去年は小学生が1,799人、中学校が878人と少子高齢化の波が確実に来ている。その中で市が進めている愛大医学部西側の区画整理事業（志津川南区）の関係で北吉井小学校の児童数が30人一時的に増加しているが、委員が言われた少子化による一人入学等の状況は今後出てくると思われます。

少子高齢化に対する増員はともかく減員にいかに対応していくのか、教育委員会でも市全体においても大きな課題であると考えております。

菅原委員 少子化は避けて通れない話である。実態を見据えた検討も必要ではないかということである。複式授業の学校には通いたくないという声もある。集団の中で意見を出し合い、考え、学んでいくというスタンスの時代でありながら、一人入学が続くのがいかななものかという意見の投げかけである。

池川教育長 山間部における小規模校の児童数の減少を大きく心配しております。

将来的には何らかの方策も出ようかと思いますが、現在の取り組みについて説明します。小規模校のメリット・デメリットは十分ご承知のことだと思います。長所の部分は質的にも高めていきたい。マイナスの部分はどう対応していくのか、話し合い活動や友達と切磋琢磨して社会性を高めていくという機会が大規模校と比べて少ないという課題があります。今考えていることは、ICT環境を整備して大規模校と小規模校がテレビ電話により交流を深めていく方法も選択肢の一つだと考えております。集団を大きくして社会性を高めていくために、現在、少年自然の家や修学旅行を連合で実施して、その成果も十分見えていますので、何らかの方法でもっと集団を大きくする機会を作れないか検討していきたいと考えております。それ以外にも軌道には乗っていないが校区を弾力化して少しでも校区外から子どもが入学してくるというような体制もっております。現在はそれらの取り組みを質的に高めて一層成果を出していくところに力を入れて、その成果を見定めたいうえで対応を検討したいと考えております。

菅原委員 そのような議論が必要であると考えている。マイナス面も最大限フォローして先生方もよくやっている。将来的に地元で就職する確率は低いですが、極端な話で地球の裏側でもしっかりとやれるように子どもたちの力を少しでも高める教育環境に努めて頂きたい。

水岡委員 東温市は子育てのしやすいまちであり、様々なサービスが充実している。お母さん同士の話す場もあり、お母さん同士が集まることを躊躇するような環境にはしないほしい。

本田委員 新型コロナウイルスのため子どもたちが長期間休んで、今は元気に登校しているようにも見えるが精神面・体力面に大きな影響を受けているのではないかと思われるので、学校の十分な配慮と行政側の人的、物的、財政的な支援をお願いしたいと思います。

加藤市長 コロナ対策は冒頭で触れさせていただいたが、法に基づいた対策本部は先般緊急事態宣言の解除により任意の対策本部に移行しております。

教育委員会部局も加わって対応を検討していただいたが、私の個人的な意見も含めて、経過途上で第2波、第3波も心配されるので、市を挙げて適切に対応していかなければならない。ある程度終息したうえで総括が必要であると考えております。大綱の中の文言としての直接表現は出来ませんが、部分的には災害にからめた表現はあると思うのでそれらを踏まえた上での対応ということでご理解をお願いします。

清家委員 内容の見直しではないが、目指す方向をしっかりと決めて各課が実行して

いるなど思う。学校の先生は自分で考えて学校の方針を踏まえて教育活動をしているわけであるが、市の基本方針を踏まえて具体的にどのような活動や研修をしていくということであるが、市の基本方針を踏まえて先生が実際に教育に当たることが大事なと思いました。学校の先生に対してすでに周知されていると思うが何人の先生が頭に入れてやっているのか、更に周知徹底すれば良いと思う。

橋本課長 学校の先生方に対して校長会等で周知しているが、それぞれの先生に浸透できるように周知方法を考えていきたいとします。

加藤市長 全体的な大きな方向づけや基本的な考え方についてご意見を頂きましたが、内容についてもご意見を頂ければと思います。保育幼稚園課の内容からお願いします。

本田委員 3頁I-2現状と課題の7行目の「そこで、」という表現は、原因に対する結果を言うための表現方法のため、適切ではない。

希望とすれば、子ども3人目以降の保育料減免を実施しているが、今の時代に2人の子どもを育てることも有難いことだと思うので、ぜひ将来的には2人目からの支援もお願いしたいとします。

山本課長 「そこで、」は、再度文書を見直して削除したい。2人目からの保育料減免については少子化等の状況も踏まえて今後検討していきます。

水岡委員 3頁I-2目指す方向の「ふさわしい遊びの提供」とは、これからはどのような遊びを提供するのか。今までとどのように違うのか。

山本課長 平成28年度策定の大綱では、「ふさわしい遊びや生活を充実させます。」と表現しているが、遊び場の提供になるかと思う。新しく子育て支援センターが完成し、保育所、幼稚園もあるが、子どもに対するつながりを考えていくうえで遊びの場の提供が必要であるため、あえて「遊び場の提供」という言葉を記述しております。

加藤市長 ほかにありませんか。次に生涯学習課の内容についてご意見をお願いします。

本田委員 14ページIV-2目指す方向の「地域社会等」の「等」は「学校等」と重複するので、削除した方が良い。16ページIV-4地域コミュニティの醸成の目指す方向の言い回しが、「与えます。」「必要があります。」等といった現状と課題のような一般的な説明になっているため、東温市ではどうするかを表現しないと目指す方向にはならないのではないかと。

河端課長 「等」についてはご指摘の通りですので、修正させていただきます。また、目指す方向の中に具体的な事業等を盛り込んで、整理し分かりやすくなるように見直します。

加藤市長　ほかにありませんか。次に学校給食センターについてご意見を申し上げます。

本田委員　10頁、目指す方向の2段落目、「新鮮で産地が明瞭な食材を使用するために」との表現があるが、産地が明瞭な食材で終わるのではなく、産地が明瞭だから安全安心だよと、そこを目指しているのなら「安全・安心」を加えるべきではないか。

近藤所長　ご指摘の通り、さくら市場や地元加工品会社の食材は地産地消が大前提ですので、修正させていただきます。

加藤市長　ほかにありませんか。教育大綱の見直しでご意見を頂きましたが、今後のスケジュールの説明をお願いします。

渡部補佐　第2回目の総合教育会議は、10月頃に予定しております。本日いただいたご意見について各課で検討を行い資料を作成しますので、内容をご確認いただき、ご意見を頂きたいと思います。その後、12月にパブリックコメントを行い、2月に3回目の総合教育会議でパブリックコメントの結果をご報告して、その際には、教育基本方針の重点施策の見直しをお願いしたらと考えております。

加藤市長　只今の今後のスケジュールの説明の通り進めることとしてよろしいですか。その他について何かありませんか。

菅原委員　中学校の部活動はいつから再開されるのか。

池川教育長　今日から段階的にスタートしております。3密をどのようにクリアしていくかなど問題があるので、当面、本来の部活動が再開できるための体力づくりを中心としてできることからスタートしていくという報告を両中学校から受けております。

菅原委員　特に3年生は、最後の大会終了後に切り替えができるが、その機会がなくなるのではないか。何らかの手立てが必要ではないのか。検討をお願いします。

池川教育長　部活動の子どもたちの心のけじめをどのようにつけるのかについて、両中学校の校長と今後の対応について検討したが、校長も非常に心配しております。新聞報道でもありましたが郡・市の総体も中止になっております。今の段階では新型コロナウイルス感染の終息がある程度見えなければ対策も講ずることが出来ないため、万全に代替対応でき、体力的にも問題がないと判断できれば、練習試合等を計画していきたいと思っております。ただ、いつ終息するかわかりませんので、進学等の問題もあるため、具体的に何ができるか今後の検討課題とさせていただきます。

菅原委員　ルールを変えてでも切り替えの場を作ってください。

加藤市長　それでは他にないようでしたら、以上を持ちまして第1回総合教育会議の協議（議事進行）を終了させていただきます。

4 閉会

池田局長　（閉会を宣す。）

（閉会 11 時 35 分）